

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度 第1回所沢市文化財保護委員会
開 催 日 時	平成28年5月26日(木) 午前10時00分 から 午前12時00分
開 催 場 所	市役所602会議室
出 席 者 の 氏 名	林 宏一 新藤康夫 羽生修二 新井政明 川井 博 宮本八恵子
欠 席 者 の 氏 名	谷川章雄 石鍋壽寛 佐藤孝之
説明者の職・氏名	
議 題	議事 1 元町本町山車人形頭の指定審議について 2 その他 報告 1 文化財保護課事業報告 2 埋蔵文化財調査センター事業報告 3 滝の城跡整備事業報告 4 ミヤコタナゴ保護対策事業報告 5 生涯学習推進センターふるさと研究グループ事業報告 6 その他
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所沢市指定文化財「総彫・総地文山車及び三代舟月作人形」及び元町本町山車人形(頭部)の調査報告(抜粋)【会議資料:1(内部資料)】 ・ 市指定文化財山車関連参考資料【会議資料:2】 ・ 指定文化財名称及び種別等の変更【会議資料:3】 ・ 文化財保護課事業報告【報告資料:1】 ・ 埋蔵文化財調査センター事業報告【報告資料:2】 ・ 滝の城跡整備事業【報告資料:3】 ・ ミヤコタナゴ保護対策事業【報告資料:4】 ・ 生涯学習推進センターふるさと研究グループ報告資料【報告資料:5】
担 当 部 課 名	<p>教育総務部 部 長:美甘寿規 生涯学習推進センター 所 長:倉富恵理子 副主幹:小暮広史 文化財保護課 参 事:木村立彦 副主幹:稲田里織 主 査:古谷芳貴 倉持美樹 関口祐子 主 任:窪地康幸 教育総務部文化財保護課 電話04(2998)9253</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>開会 教育総務部長あいさつ 文化財保護委員長あいさつ 4月1日付け人事異動に伴う事務局職員の自己紹介、配布資料の確認後、林委員長が議長となり、議事を進める。 冒頭「所沢市情報公開条例」に基づき本会議、会議資料、会議録の公開について諮り、公開とすることを議長が宣言。次に、会議録については要約方式、発言者の委員名は出さず「委員」の表示とすること、会議録の確定は議長（委員長）の承認で行うことを確認した。</p>
議 長 事務局	<p>議事 1 元町本町山車人形頭の指定審議について 元町本町山車人形頭の指定審議について、まず事務局から説明をお願いします。 こちらの案件は、前回平成27年度第3回会議より持ち越しとなっているものです。元町本町町内会が所蔵する山車人形「加藤清正」の頭部は、心棒の銘文に「原舟月作」、箱に「清正公御頭」、箱の蓋裏に「丁慶応三年卯九月御詠渡」とあります。前回資料でお配りしましたカラー、または今回の白黒写真の他、本日該当の資料をお借りしましたので、ご確認いただければと思います。</p>
議 長	<p>こちらの山車につきましては、平成8年9月5日付けで、種別有形文化財（彫刻）、名称「元町（本町）山車」として指定を受けておりますが、人形に関しては未指定となっております。慶応3年の銘から、銘にある「原舟月」は三代と考えられ、その資料価値が提示されております。本資料につきましては、指定のご審議と、また指定となりました場合の指定名称及び種別のご検討をお願いするものです。</p>
委 員 議 長	<p>この人形頭については、前回審議の御幸町山車人形の調査と同日に調査を行い、三代舟月の作に間違いはないということになりました。当日調査にご同行いただきました委員から、補足等説明をお願いします。 やはり代が変わり、作風が変わった印象があります。二代は実用的な感じがしますが、三代はより重みがある感じです。 本日、町内会のご厚意を得まして、直接実物を確認する機会をいただきました。委員の皆様には、一度実物をよくご覧いただきたいと思っております。</p>
議 長	<p>※実物確認が行われ、箱の蓋裏にある「詠渡」の文字は「修復」である可能性が現れた。 墨書が「修復」であるとすれば、製作年代が幾分変わりますが、三代舟月作という点は変わりません。銘札や作風、構造や重さも二代舟月のものと全然違い、人体把握の仕方も近代に近い様相で、御幸町の山車人形の関羽とは全く違う表現です。作者が違うのは明らかで、三代舟月作ということで間違いないでしょう。 ただ、箱の文字と読み方で慶応3年の作と考えられていましたが、「修復」という文字通り読めば、製作年は遡ることになります。その辺りははっきりさせておく必要があります。</p>

委員	<p>調査の成果については一部訂正、見直しが必要になりますが、この人形頭について、元町の山車に指定を加えた上で、種別と名称をどうするか、委員の方々のご意見を伺っていきたいと思います。</p> <p>指定が彫刻のままであれば、人形頭の箱は含まなくてもいいと思いましたが、民俗文化財に変わる場合は、その箱が使われてきた履歴や背景などが重要になってきます。御幸町山車人形の場合にも、箱の裏書きにマジックで元々の墨書が写し書きされていたり、人形の修復の一部にステンレスの三寸釘のようなものが使われていたりして、そのマジックやステンレスの普及年代から、修復年代や履歴が推測できるようなことがあります。そういった素材が使われていた場合の保存や管理方法については、それ以上の損耗を防ぐために、また別に検討する必要があると思いますが、町の人々が使ってきた履歴が残されているものであれば、指定に含めた方が良くと思います。</p>
議長	<p>前回、御幸町山車人形の箱については指定に含めていませんでしたが、今回の箱について、ご意見はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>箱に関連して思ったことですが、民俗文化財として重要ということであれば、山車と山車人形の画題が一致しない場合はよくありますが、山車彫刻などについても把握しておけば、将来的な調査の役に立つと思いました。</p>
委員	<p>前回の箱に比べて、今回の箱は人形頭の情報がよく読み取れるものだと思いますし、民俗文化財として残ってきた過程を一括して指定するという考え方はいいと思います。残すことで、次世代の方々に研究してもらう素材となることもできます。</p>
委員	<p>箱の墨書に資料の説明価値があるので、箱も含めて指定にしてよいのではないかと思います。</p>
委員	<p>市町村によって指定の仕方にもいきさつを含めるなど色々あると思いますが、墨書が「修復」なのか、新造なのかを整理する必要があると思いますので、附でいいのかなと思います。</p>
委員	<p>今まで使用された過程を物語るものであることは事実で、今後付属品などが出てくる可能性もあります。ただ、傷んでいるものなどは、除くことも仕方ないと思います。</p>
議長	<p>彫刻では「修復」という言葉に関して、文字通り修復したという意味もあれば、新たに造ったという場合にも使うことがあります。修復の意味であるとすれば、修復内容は塗り直しだと思われます。箱はまさしく慶応あたりの時代のものですが、銘札に全く製作年が書いていないので、「修復」については断定しがたい状況です。</p> <p>いずれにせよ文化財的な価値は評価でき、元町の山車とかつては一体の人形であることは確かですから、人形頭とその箱は指定の対象に加えてよろしいでしょうか</p>
全員	<p>異議なし。</p>
議長	<p>それでは、まず指定名称の変更に関してですが、事務局案はありますか？</p>
事務局	<p>事務局といたしましては、名称が「元町（本町）山車及び三代原舟月作人形頭「加藤清正」」、員数は一括（山車一基、人形頭一箇）を案としておりました。</p>
議長	<p>人形銘札は、三代原舟月作と確認できるものなので、附で入れた</p>

<p>全 員 議 長 事務局</p>	<p>方がよいと思いますが、いかがでしょうか。 異議なし。 「元町（本町）山車」の部分についてはいかがでしょうか。 補足といたしまして、昭和の初期、戦後の早々まで、現在の元町の西半分の区域が、本町という名を用いていた時期があります。現在の町内会につきましては、丸カッコの無い元町本町として活動しております。</p>
<p>委 員 委 員</p>	<p>公式な町名ではありませんが、山車の形容詞であれば、丸カッコが無い方が市民はわかりやすいと思います。 所有の町内会が丸カッコの無い名称で活動しているなら、同様の方がいいと思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>では、「元町本町山車」と丸カッコをとった形で、残りの部分「及び三代原舟月作人形頭「加藤清正」」に人形銘札一枚を附にする形でよろしいでしょうか。</p>
<p>全 員 議 長</p>	<p>異議なし。 箱については、人形頭の歴史を知る資料として、員数に含めるということでよろしいでしょうか。</p>
<p>全 員 議 長</p>	<p>異議なし。 員数と内訳に関しては、御幸町山車の例にも倣い、員数は一括、内訳は山車一基、山車人形頭一箇、箱一合。種別も有形民俗文化財に変更でよろしいでしょうか。</p>
<p>全 員 議 長</p>	<p>異議なし。 ではまとめますと、名称は「元町本町山車及び三代原舟月作人形頭「加藤清正」 附 人形銘札一枚」、員数は一括で内訳は山車一基、山車人形頭一箇、箱一合、種別は有形民俗文化財ということになります。 「修復」については、今後の確認事項ということでよろしく願います。 また、これまで御幸町山車、元町本町山車と種別を彫刻から有形民俗文化財に変更しましたが、残る有楽町山車についても、種別を変更し、統一をはかるということで結論してよろしいでしょうか。</p>
<p>全 員 議 長 事務局</p>	<p>異議なし。 それでは、事務局に事務手続きをお願いいたします。事務局はいかがでしょう。 本審議の内容にて、指定見直しの事務手続きを進めさせていただき、指定名称及び種別、員数の変更をさせていただきます。</p>
<p>議 長 委 員 事務局</p>	<p>それでは、元町本町山車人形頭の指定審議は以上といたします。 御幸町山車人形に関する箱についてですが、今回の元町の箱の審議内容を踏まえて、やはり再度審議ができればと思いました。 御幸町山車に関する箱につきましては、前回ご確認いただいた人形の箱以外にも、山車に関係する複数の箱がありますので、改めて確認をとりたいと思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>では、御幸町山車に関する箱は数量等を調査した後、員数の中に含める審議をするということではよろしいでしょうか。</p>
<p>全 員 議 長</p>	<p>異議なし。 議事については審議を終わります。</p>

<p>議 長 事務局</p>	<p>2 その他 続きまして、その他の議事について、何かありましたらお願いいたします。</p> <p>前回ご審議いただきました御幸町山車人形について、4月14日に内部確認のためのX線撮影を埼玉県埋蔵文化財調査事業団で実施しました。その結果を反映する形で調査票の修正を行い、撮影にご同行いただいた委員長と、民俗担当の委員にもご確認いただき、本日改めてお配りしております。また、X線写真をご用意しておりますので、ご確認いただきたいと思います。</p> <p>※X線写真の確認が行われた。</p> <p>この件について、何かありましたらお願いいたします。</p> <p>異議なし。</p> <p>その他の議事について、審議を終わります。</p>
<p>議 長 全 員 議 長</p> <p>以下事務局より</p>	<p>報告</p> <p>1 文化財保護課事業報告 報告資料1により平成27年度事業報告・平成28年度事業計画の報告がされた。</p> <p>2 埋蔵文化財調査センター事業報告 報告資料2により平成27年度事業報告・平成28年度事業予定の報告がされた。</p> <p>3 滝の城跡整備事業報告 報告資料3により滝の城跡整備事業の報告がされた。</p> <p>4 ミヤコタナゴ保護対策事業報告 報告資料4によりミヤコタナゴ保護対策事業の報告がされた。</p> <p>5 生涯学習推進センターふるさと研究グループ事業報告 報告資料5により平成27年度事業報告・平成28年度事業計画の報告がされた。</p> <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「御幸町山車及び二代原舟月作人形「関羽・周倉」 附 人形銘札一枚」の修理について、今年度の文化庁による「文化遺産を活かした地域活性化事業」に内定し、手続きを進めていく旨の報告がされた。 ・郷土史料等保存対策プロジェクト活動報告の研究報告書の作成報告がされた。 ・西武鉄道所沢車輛工場跡地内歴史的建造物調査業務委託報告書の作成報告がされた。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回以降の審議内容について確認され、齊藤家の川越鉄道関係資料、旧和田家所蔵の民具などが審議候補に挙げた。

	<ul style="list-style-type: none">・次回、平成28年度第2回会議は、10月下旬から11月上旬に開催を予定。
--	--